

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第 28 号(通巻 53 号)2009 年 12 月 11 日発行

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪大学 外国語学部 中国語学研究室内

中国語教育学会

HP <http://www.jacle.org/>

Email ch_teaching@yahoo.co.jp

郵便振替口座 00110-1-191152

=====

目次

- (1) 次期役員選挙の開票結果
- (2) 第 8 回全国大会研究発表の募集
- (3) 2009 年度第 2 回理事会報告
- (4) 九州地区研究会(2010 年 1 月 9 日、西南学院大学)のお知らせ
- (5) 2009 年度新入会員

=====

- (1)次期役員選挙の開票結果

次期役員選挙については、11 月 6 日に投票を締め切り(投票総数 140 通、計 560 票)、11 月 14 日に学会事務局において厳正な開票作業を行いました。得票数 10 位までの開票結果は以下のとおりです。

- | | |
|-----------|------|
| 1 . 荒川清秀 | 63 票 |
| 2 . 郭春貴 | 31 票 |
| 3 . 山崎直樹 | 23 票 |
| 4 . 三宅登之 | 20 票 |
| 4 . 依藤醇 | 20 票 |
| 6 . 守屋宏則 | 17 票 |
| 7 . 日下恒夫 | 16 票 |
| 8 . 佐藤富士雄 | 15 票 |
| 9 . 岩本真理 | 14 票 |
| 10 . 加藤晴子 | 13 票 |
| 10 . 平井和之 | 13 票 |
| 10 . 丸尾誠 | 13 票 |

会則に従い、12 月 6 日開催の 2009 年度第 2 回理事会において審議した結果、2010 - 2011 年度会長に荒川清秀先生(愛知大学)が選ばれたことをご報告します。

(2) 2010年度第8回全国大会研究発表の募集

第8回大会は2010年6月5、6日(土日)の両日、桜美林大学町田キャンパスにおいて開催します。以下の要領により研究発表を募集しますので、奮ってご応募ください。

1. 応募資格

- ・応募者は、応募時点における会員に限る。

2. 発表内容

- ・発表内容は未発表のもので、広く中国語教育に関わるものであること。

3. 応募要領

- ・「発表者原簿(1ページ目)」及び「発表要旨(2ページ目)」を提出すること。

- ・必ず所定の様式(学会ホームページからダウンロードしたもの)に記入すること

発表要旨は日本語または中国語で1000字以内。A4判に横書きで1枚におさめること。

1行目にタイトル、2行目に氏名、所属、「発表要旨：」の次の行から要旨を書くこと。

4. 書類提出先

(1) メールの場合：

- ・タイトルを「中国語教育学会第8回全国大会発表応募」として、以下の準備会メールアドレス宛に添付ファイルで送信してください。

jacle.obirin2010@gmail.com

アドレスの間違いないように、くれぐれもご注意ください。

学会ホームページ(<http://www.jacle.org/>)からもリンクされています。

(2) 郵送の場合：以下の宛先に郵送してください。

〒229-0006 神奈川県相模原市淵野辺 4-16-1

桜美林大学淵野辺キャンパス 桜美林大学孔子学院事務局

「中国語教育学会第8回全国大会」準備会宛

4. 締切

2010年2月27日(金)必着

採否の結果は2010年3月中に応募者全員に通知し、学会ホームページにも掲載します。

(3) 2009 年度第 2 回理事会報告

日 時：2009 年 12 月 6 日（日）13：00～14：00

場 所：明治大学駿河台校舎研究棟第 2 会議室

出席者：古川裕、荒川清秀、平井和之、藤井達也、三宅登之、山田眞一、遠藤雅裕、
大川完三郎、加藤晴子、日下恒夫、胡士雲、胡興智、佐藤富士雄、高橋弥守彦、
武信彰、陳淑梅、丸尾誠、守屋宏則、依藤醇、事務局（森宏子、郭修静）

欠席者：西川和男、岩本真理、郭春貴、西香織、楊光俊（上記敬称略）

報告事項：

(1) 会員動向（2009 年 12 月 1 日現在）

総会員数 463 名

会費納付率 74%

(2) 例会・講演会など

2009 年 7 月 18 日（土）大東文化会館

石毛文茂（大東文化大学・非）「日本人中国語学習者のアスピレーション子音の習得とその
方策」

大嶋吉郎（大東文化大学）「中国語学会における専門教育への取り組み 現状と課題」

高橋弥守彦（大東文化大学）「中国語の文法体系」

2009 年 11 月 29 日（日）大阪大学中之島センター

下記参照

2010 年 1 月 9 日（土）西南学院大学にて開催の予定（下記九州地区研究会のお知らせ参照）

(3) 会報

『会報第 26 号（通巻 51 号）』2009 年 6 月 30 日発行

(1) 第 7 回全国大会開催報告

(2) 2009 年度第 1 回理事会、総会報告

(3) 学会誌第 8 号の原稿募集

(4) 関東地区 7 月研究会のお知らせ

(5) アジアの中国語教育に関する国際シンポジウム開催のお知らせ

『会報第 27 号（通巻 52 号）』2009 年 10 月 10 日発行

(1) 次期役員選挙について

(2) 学会誌『中国語教育』第 8 号の原稿募集について

(3) アジアの中国語教育に関する国際シンポジウム開催のお知らせ

(4) 事務局からのお願い

(4) 学会誌『中国語教育』第 8 号の投稿状況について

12 月 4 日（金）締切の投稿数は 19 本（うち 2 本は電子データ未着）、他に依頼論文 1 本（あ
と 3 本未着）。

【資料】関西地区研究会：亚太地区汉语教学学会第一届研讨会

2009年11月29日(星期日)、大阪大学中之島センター7Fにて開催、参加者合計102名。

第二届大会は2010年10月に韓国ソウル市において開催される予定です。

10:05 ~ 11:45	<p>主题报告 主持人[日本] 大阪大学 古川裕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [日本] 四天王寺大学 胡士云 日本の汉语教学及其他 2. [中国] 北京语言大学 崔希亮 汉语国际教育“三教”之问题与求解 3. [韩国] 韩国外国语大学 孟柱亿 韩国大学汉语专业教育的现状与改善方案 4. [新加坡] 新加坡南洋理工大学 吴英成 打造汉语教学新天地：国际汉语中转站 5. [澳大利亚] Monash University 洪历建 澳大利亚国家语言政策与高校汉语教学浅析 6. [越南] 越南河内国家大学所属外国语大学 阮黄英 越南汉语教学现状与发展趋势
---------------------	---

13:00 ~ 15:00	<p>第1小组：“汉语教学法” 主持人：[新加坡]吴英成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [日本] 崔真玉 2. [日本] 郭丽影 3. [日本] 山田真一 4. [日本] 续三义 5. [日本] 杨光俊 6. [日本] 张伟雄 7. [日本] 赵延风 8. [韩国] 朴兴洙 9. [韩国] 王霞 10. [新加坡] 陈月慧 11. [澳大利亚] 黄慧 12. [越南] 陈氏金鸾 	<p>第2小组：“汉语教材与水平测试” 主持人：[澳大利亚]洪历建</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [日本] 铃木庆夏 2. [日本] 汤山トミ子 3. [日本] 斋藤贵志 4. [日本] 张恒悦 5. [韩国] 甘瑞璵 6. [韩国] 苏恩希 7. [新加坡] 胡月宝 8. [新加坡] 林容婵 9. [新加坡] 钟韵宜 10. [澳大利亚] 高保强 11. [澳大利亚] 王毅 12. [中国香港] 施仲谋
15:30 ~ 17:00	<p>第3小组：“第一语言对汉语教学的影响与作用；师资培训” 主持人：[韩国]孟柱亿</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [日本] 陈於华 2. [日本] 房雪霏 3. [日本] 焦世文 4. [日本] 任鹰 5. [中国] 郭鹏 6. [新加坡] 陈家玉 7. [新加坡] 徐峰 8. [越南] 丁氏红秋 	<p>第4小组：“汉语语法教学和阅读教学” 主持人：[越南]阮黄英</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [日本] 高桥弥守彦 2. [日本] 吉田泰谦 3. [日本] 原由起子 4. [日本] 张黎 5. [韩国] 金琮镐 6. [越南] 陈氏黄英 7. [越南] 何黎金英 8. [澳大利亚] 海雷、王永阳

關西地区研究会: 亞太地区漢語教學學會第一屆研討會

發表者(所属) 題目 の記録

[日本]

胡士雲(四天王寺大学)《日本の汉语教学及其他》

陳於華(中京学院大学)《日语对日本华侨华人子女学习中文的影响》

崔真玉(關西國際学園)《浅谈选修儿童汉语教学的教学方法》

房雪霏(關西学院大学)《中、日文中“祇园”“祇”字的误用与误读》

高橋弥守彦(大東文化大学)《从句结构论来分析“呢”》

郭麗影(熊本大学・非)《相对音感在汉语声调教学中的作用 「do・sol」五度二音符的声调教学法初探》

焦世文(神戸親和女子大学・非)《适应当地实情,充分发挥中国教师在汉语教学中的作用》

吉田泰謙(關西外国語大学)《对于“构式-语块”教学法的一些思考》

鈴木慶夏(釧路公立大学)《日本大学非专业汉语教育中“把”字句教学的现状与问题》

任鷹(神戸市外国語大学)《日本学生汉语学习中常见问题的初步考察 基于日语和汉语的类型特征》

山田真一(富山大学)《“译文先交法”的尝试》

湯山トミ子(成蹊大学)《活用 e-Learning 系統於汉语基础教学—“游”方式》

続三義(東洋大学)《日本の汉语语音教学小议—以韵母为例》

楊光俊(桜美林大学)《非目的语环境下的汉语教学 兼谈櫻美林大学孔子学院的实践》

原由起子(姫路獨協大学)《关于“V起来”、“开始V”、“开始V起来”的区别》

斎藤貴志(麗澤大学)《浅谈日本国内汉语水平测试现状》

張恒悦(龍谷大学)《以日本学生为对象的汉语教材编写策略初探 以副词“都”为例》

張黎(大阪産業大学)《汉语语法教学中的几个难点问题的认知类型学解释 从中日语言对照的角度看》

張偉雄(札幌大学)《汉语教学与学习动机的确立》

趙延風(立命館孔子学院・北京大学)《对日儿童汉语教学书面导入语言处理方式研究 兼谈汉字对日本人汉语习得模式的影响》

[中国・香港]

崔希亮(北京语言大学)《汉语国际教育“三教”之问题与求解》

郭鹏(北京语言大学)《中国高校培养海外本土化汉语教师的新趋势》

施仲谋(香港大学)《香港汉语教学发展新趋势》

[韩国]

孟柱亿(韩国外国语大学)《韩国大学汉语专业教育的现状与改善方案》

甘瑞瑗(又松大学)《双语词典收词的新方法》

金琮镐(韩国外国语大学)《汉语补语的韩语相应成分句中位置分析》

朴兴洙（韩国外国语大学）《对韩国学生的汉字文化教学》

苏恩希（韩国淑明女子大学）《日帝殖民地时期汉语会话教材与韩国中国语教学—以第一部朝鲜教育令时期为中心》

王霞（汉阳大学校）《韩国汉语口语教学之我见》

[ベトナム]

阮黄英（越南河内国家大学所属外国语大学）《越南汉语教学现状与发展趋势》

陈氏黄英（越南河内国家大学所属外国语大学）《越南学生汉语篇章教学》

陈氏金鸾（越南河内国家大学所属外国语大学）《越南学生汉语声调偏误分析》

丁氏红秋（越南河内国家大学所属外国语大学）《越南中、高级汉语听力课教学的一些心得》

何黎金英（越南河内国家大学所属外国语大学）《汉越语法对比等级和越南学习者的相关语法偏误分析》

[シンガポール]

吴英成（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《打造汉语教学新天地：国际汉语中转站》

陈家玉（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《信息通讯技术与汉语教学的整合：师资培训框架》

陈月慧（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《为小学华文教材打开一扇窗口：双语版《我的华文动漫书》》

胡月宝（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《语言专业服务：以新加坡经验为例论语言产业新概念》

林容婵（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《汉语测试的新址：探讨第二语言测试模式（亚洲版）的建设》

徐峰（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《语言知识与语言知识教学：汉语师资培训课程中的“剑”与“道”》

钟韵宜（新加坡南洋理工大学国立教育学院）《汉语专业口语测试改革—以专业华语口语能力鉴定考试为例》

[オーストラリア]

洪历建（Monash University）《澳大利亚国家语言政策与高校汉语教学浅析》

高保强（Latrobe University）《国际汉语教学内容的文化因素与教师中文测试》

海雷·王永阳（The University of Melbourne）《试论汉语作为第二语言教学中的跨文化阅读》

黄慧（Monash University）《加速背景汉语学习者汉语的读写能力》

王毅（The University of Western Australia）《非正规教育学生汉语水平测试标准化问题》

(5) 会計中間決算、補正予算案、予算案について

中国語教育学会 2009 年度会計中間決算書(2009 年 4 月～2009 年 11 月)

< 収入 >

	予 算	中間決算
会費収入	2,000,000	1,680,000
会誌売上	50,000	0
寄付		200,000 (愛知大学より)
<u>繰越金</u>	<u>2,881,712</u>	<u>2,881,712</u>
計	4,931,712	4,761,712

< 支出 >

諸会議費	300,000	488,960
事務費	200,000	211,425
郵便費	320,000	152,748
交通費	500,000	354,360
会誌第 8 号印刷費	300,000	0
第 7 回大会費	400,000	400,000
幹事手当	200,000	200,000
選挙関連費	50,000	61,341
<u>予備費</u>	<u>2,661,712</u>	<u>2,892,878</u>
計	4,931,712	4,761,712

2010 年度予算案

< 収入 >

会費収入	2,000,000
会誌売上	50,000
<u>繰越金</u>	<u>2,600,000</u>
計	4,650,000

< 支出 >

諸会議費	400,000
事務費	300,000
郵便費	300,000
交通費	500,000
会誌第 9 号印刷費	300,000
第 8 回大会費	400,000
幹事手当	200,000
<u>予備費</u>	<u>2,250,000</u>
計	4,650,000

審議事項：

- (1) 次期役員選挙の開票結果について
- (2) 第 8 回全国大会の準備状況について

(4) 九州地区研究会(2010年1月9日)のお知らせ

日時：2010年1月9日(土)13:15~17:00

13:15~13:20 開会の挨拶

13:20~14:00 研究発表

14:10~15:30 研究発表

15:40~17:00 研究発表

場所：西南学院大学(福岡市早良区西新6-2-92)1号館305号教室

<http://www.seinan-gu.ac.jp/access/access.html> *地下鉄西新駅下車徒歩5分

(福岡空港から西新駅まで約17分、博多駅から西新駅まで約12分)

研究発表

発表者：篠原 征子(北九州市立大学(非))

発表題目：漢字練習帳で中国語の基礎づくりを

発表要旨：中国語を第二外国語とする学習者の中で、初級終了後に中国語は難しいと思っている人は少なくない。このような結果をもたらした要因の一つとして、学習者が学習の過程において、漢字練習を軽視していたことにより、しっかりとした基礎が作れなかったためだと考えられる。本発表は、入門時から学習者に漢字練習帳を用い、漢字とピンインのセットによる学習の効果および問題点を報告するものである。

研究発表

発表者：黎 明(熊本大学(非))

発表題目：“再”、“又”、“还”、と「重音」

発表要旨：「重音」とはアクセントのことである。一般的に「重音」をつけると語気の変化はあるが、文の意味はほとんど変わらない。しかし、「明天还吃饺子」と「明天还吃饺子」の意味は異なるし、また「又下雨了」と「又'下雨了」の語気や感情にも、特異な意味が含まれる。中国語の副詞“再”、“又”、“还”は「重音」によって「重複」と「追加」の関係においてどう変わるか、また文の語気はどう変わるかを考察する。

研究発表

発表者：郭 麗影(熊本大学(非))

発表題目：中国語声調調値の定量化に関する一考察—「ド・ソ」五度声調指導法を中心として—

発表要旨：現在、中国語声調の調形は一般に「高・低・昇・降」により表現されている。調形の音高は調値で表されるが、調値は歌でたとえればメロディに相当する。1930年、趙元任は「五度標調法」において初めて我々に定量化された調値を提示した。80年あまりの年月を経て、「五度標調法」の調値を巡って是か非かが論議されているものの、新しい調値は生まれていない。本論は中国語声調調値の定量化を求め、「ド・ソ」二つの高・低音階名を用いて、学習者がすぐに覚えられるような調値を模索した。

研究発表

発表者：西 香織（北九州市立大学）

発表題目：「ほめ」に対する応答の指導について

発表要旨：謙遜は、中国語社会においても日本語社会においても、対人関係を円滑に保つために多用されてきた言語行動の一つである。しかし、近年、これまで謙遜表現を使用することが求められていた場面においても“谢谢”等、相手の言葉を受け入れる傾向が特に若い世代において強く見られる。本発表では中国の大学生を対象に実施した調査を元に、中国語の教材において、「ほめ」の場面をどのように提示すべきかを考えたい。

研究発表

発表者：王 萌（九州大学（院生））

発表題目：中国語における不同意表明の仕方

発表要旨：本研究では、まず、相手と異なる意見を言う時どのような表明の仕方をするかについて、20代～30代の中国語母語話者100名にアンケート調査を行った。調査を通して中国語母語話者が不同意を表明する場合の傾向を掴むことができた。次に、実際の会話における不同意場面も収集・分析し、本分析結果がアンケート調査で得た結果と一致するかどうかを検証した。最後に、本研究のデータから得られた不同意表明の仕方の特徴を中国語の会話教育へどのように取り入れるかについて述べたい。

（4）2009年度新入会員

洪潔清（千葉大学言語教育センター）

山口直人（大東文化大学）

杉江聡子（北海道札幌国際情報高等学校・非）

白愛仙（大東文化大学国際関係学部）

劉小俊（関西学院大学言語教育研究センター）

韓雲冬（くらしき作陽大学）

梁羽（大阪大学・院）

候仁鋒（広島大学）

吉山青翔（四日市大学環境情報学部）

塩山正純（愛知大学）

石丸洋（日中文化学院）

曾莉芬（アジア国際語学センター）

郭麗影（熊本大学・非）

周一川（日本大学 理工学部）

王萌（九州大学比較社会文化学府・院）

若生久美子（台湾国立高雄餐旅学院・応用日本語科）

伊藤祥雄（サイマルインターナショナル法人事業部）

劉鳳芹（下関市立大学・特任教員）

石毛文茂（大東文化大学・非）

田邊 鉄（北海道大学情報基盤センター）

雷桂林（桜美林大学言語学科）

千葉謙吾（中央大学経済学部）

中村加奈（大阪大学・院）

平山真弓（大阪大学・院）

張新力（愛知工業大学基礎教育センター）

劉柏林（愛知大学現代中国学部）

相場美紀子（神戸松蔭女子学院大学・非）

下地早智子（神戸市外国語大学）

金縄初美（北九州市立大学外国学部）

司馬黎（熊本大学・非）

山口莉慧（フォーラム株式会社）

趙丹寧（東亜書院・非）